

宮崎県拠点だより

宮崎県拠点の
WEBサイトは
こちらから▼



事例紹介
#26

持続可能な農業に向かって!!

第1世代から 第2世代へ!!

親子でつなぎ
幸せ飛ばす
胡蝶蘭



楠木洋蘭園代表の斎藤正美さん(左)と後継者の充祥(みつよし)さん

宮崎市の胡蝶蘭産地は、約40年前、JAが新たな園芸品目として導入を進めたことを契機に発展しました。

当時、この地区で主要作物であったアールスメロンに続く品目を模索する中で、JA青年部の若手生産者を中心に導入が進み、現在の洋ラン部会の基礎が築かれました。

宮崎県は冬季の日照量に優れ、胡蝶蘭栽培に必要な光環境が確保しやすいことから、現在では、全国でも有数の産地として成長しました。

楠木洋蘭園では、約30アール規模の施設を有し、家族3人とパート従業員12～13人で経営しています。後継者である充祥(みつよし)さんは、大学卒業後に主要産地の埼玉県で研修して就農し、現在では、洋ラン部会の会長を務めています。経営を譲るに当たって、国の補助事業を活用した施設整備を進めており、年間生産株数を約1万8千株から約2万4千株へ拡大する計画です。

胡蝶蘭は、主に台湾で生産された苗を輸入し、国内で育苗・開花管理を行います。育苗室では高温管理、開花室では昼24～25℃、夜18℃程度に制御することで周年出荷体制を確立しています。また、施設全体でヒートポンプによる冷暖房を導入し、省エネルギー化を図っています。

洋ラン部会として、苗や資材の購入、輸送、技術研修及び情報交換などを行い、共同調達することでコスト削減を図り、定期的な部会農家の圃場巡回を通じて栽培技術の向上に取り組んでいます。

また、品質が良く出荷量を確保することで、出荷先である京都、大阪、福岡、鹿児島、宮崎などの各市場からの評価向上にもつながっています。

労働力の確保や資材高騰への対応が必要で、部会で長年蓄積された技術や部会活動による支援体制が存在することは、産地維持における大きな強みです。

宮崎市の胡蝶蘭産地は、恵まれた自然条件、JAを中心とした組織的な取組、生産者同士の技術共有により発展してきました。今後も後継者への円滑な経営継承と産地全体の競争力強化を図りながら、安定した生産体制の維持が期待されます。



栽培中の胡蝶蘭3品種
左から、V3、湖衣姫、ハッピーストリーム

農水省HP：2027年国際園芸博覧会
(GREEN×EXPO 2027)



拠点のうごき

9月1日
シキミの生産者
を訪問(延岡市)

9月10日
中学校で「みどり
戦略」の出前講座
(宮崎市)

JAみやざき延岡地区本部の北川町しきみ部会が生産するシキミは、色や形など県内外から高く評価されています。小野敬通（おの たかみち）さんは、日々品質向上の試行錯誤を重ね、栽培の課題である立ち枯れ症対策として、年3回牛ふん堆肥を施用し土づくりを行っています。また、整枝剪定により風通しを良くし、病害虫の発生を抑制する高い栽培技術を地域の農業者へ伝承しています。



出荷用のシキミ

みどりの食料システム戦略推進のため、宮崎市と連携し市政出前講座を行いました。（対象：宮崎市立檉中学校1年生29人）当拠点は「環境にやさしい持続可能な農林水産業について」と題しクイズを交えながら説明し、生徒の代表からは、食品ロスを減らすために「てまえどり」を心掛けたい等の感想がありました。



みどり戦略の説明

令和9年度

農林水産関係予算概算要求

総額 3兆1,377億円
うち『「強く豊かな日本」投資枠』4,272億円
(2兆2,956億円)
※()内は令和8年度当初予算額

『「強く豊かな日本」投資枠』も活用し、食料安全保障の強化等に向け、農林水産業の持続可能な成長を実現するための予算を要求

説明動画
も掲載中



農水省HP

eMAFF 申請 リニューアル

2026年10月、補助金等の農林水産省共通申請サービス【eMAFF申請】が大幅にリニューアルしました！

約400件の農林水産業・食品産業に関する手続きがオンラインで完結します。

詳しくは、農林水産省ホームページをご覧ください。



農水省HP

データで見る宮崎の市町村別ダッシュボード

◆宮崎県拠点WEBサイトの「宮崎の統計情報とデータ分析」に「市町村別ダッシュボード」を作成しました。農業経営体や土地、農産物の販売など（4ページ分）を市町村別に確認できます。

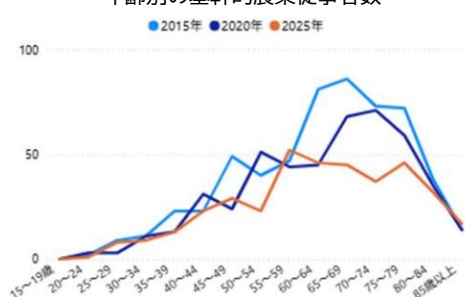
地域選択

全国	西都市	川南町
九州	えびの市	都農町
宮崎県	三股町	門川町
宮崎市	高岡町	緒方村
都城市	国富町	椎葉村
延岡市	鏡町	美郷町
日南市	高鍋町	高千穂町
小林市	新富町	日之影町
日向市	西米良村	五ヶ瀬町
串間市	木城町	

基幹的農業従事者数



年齢別の基幹的農業従事者数



基幹的農業従事者数

2015年	568
2020年	472
2025年	381

年齢階層による増減率



拠点Webサイト
はこちらから



●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985 - 24 - 2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記

台風や線状降水帯による大雨が全国で多く発生しています。地震も、いつどこで起こるかわかりません。職場やご家庭では、非常用食料や飲料水の備蓄、防災用品の点検、避難時の行動確認など、自然災害への備えを改めてお願いいたします。日頃からの備えが、いざという時の安全・安心につながります。(T)